

平成 28 年度 施策評価シート

基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	5 社会保障制度の堅持		
単位施策名称	1 保険制度の安定した運営		所管部
施策の方向性	●国民健康保険・医療制度などの周知と、収納促進、医療費の適正化に向けた啓発を推進するとともに、健全な運営を図ります。 ●介護保険のサービス給付費の増加を抑制するため、介護予防事業の充実を図ります。		福祉保健部

1. 施策指標

番号	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	中期目標(H32)
1	ジェネリック医薬品の数量シェア	%	目標値		56.0	62.0	68.0	74.0	80.0
			実績値	49.9	59.0				
			達成状況		達成				
2	元気な後期高齢者の割合	%	目標値		73.9	73.9	74	74	74
			実績値	73.9	75.9				
			達成状況		達成				
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						
施策の推進に要した総事業費		千円	総事業費		1,690,756				
			うち、一般財源額		1,374,358				
		%	増減率(対前年度、総事業費)						
			増減率(対前年度、一般財源額)						

2. 施策の成果を押し上げる事業(事務事業)

番号	事業名称	事務事業評価指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
01	国民健康保険健康保持増進普及事業	人間ドック受診者数	人	目標値		650	650	650	650	650
				実績値	597	636				
			千円	達成状況		未達成				
				事業費		21,690				
02	基盤整備事業	小規模特別養護老人ホーム整備(累計)	箇所	目標値		3	4	4	4	4
				実績値	3	3				
			千円	達成状況		達成				
				事業費		72,562				
		小規模多機能型居宅介護整備(累計)	箇所	目標値		2	3	3	3	4
				実績値	1	1				
			千円	達成状況		未達成				
				事業費		-				
		定期巡回・随時対応型訪問介護看護整備(累計)	箇所	目標値		2	2	2	2	2
				実績値	-					
			千円	達成状況		未達成				
				事業費		-				
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						
				目標値						
				実績値						
			千円	達成状況						
				事業費						

3. 施策の成果を維持する事業(財政計画)

番号	事業名称	単位	区分	H28	H29	H30	H31	H32
1	国民健康保険特別会計繰出金（保険基盤安定制度）事業	千円	事業費	226,790				
			うち、一般財源額	56,698				
2	介護保険特別会計繰出金事業	千円	事業費	531,461				
			うち、一般財源額	526,813				
3	国民健康保険特別会計繰出金（事務費等）事業	千円	事業費	261,598				
			うち、一般財源額	261,598				
4	後期高齢者医療療養給付費負担金事業	千円	事業費	466,019				
			うち、一般財源額	466,019				
5	後期高齢者医療特別会計繰出金（事務費）事業	千円	事業費	25,868				
			うち、一般財源額	25,868				
6	後期高齢者医療特別会計繰出金（保険基盤安定制度）事業	千円	事業費	78,001				
			うち、一般財源額	19,501				
7	後期高齢者医療特別会計繰出金（健康診査等）事業	千円	事業費	6,767				
			うち、一般財源額	6,767				
8		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
9		千円	事業費					
			うち、一般財源額					
10		千円	事業費					
			うち、一般財源額					

4. 評価と対応方針

[illegible]

5. 今後の展望

成果を押し上げる事業（事務事業）の今後の展望		
事業名称	今後の方向性	方向性を踏まえた今後の展望
1 国民健康保険健康保持増進普及事業	事業継続	未達成ですが、目標値到達率は８０％を超えていることから、概ね達成と見なし、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。
2 基盤整備事業	抜本的な見直し	事業のあり方について、対応方針に沿い、抜本的に見直すこととします。
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
課題等を踏まえた対応方針及び今後の事業の展望を踏まえた施策の方向性		
未達成の事務事業に留意しつつ、引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。		

1. 基本情報

事務事業の名称	国民健康保険健康保持増進普及事業	事業番号	151101
所属	福祉保健部	保険年金課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	5	社会保障制度の堅持	
単位施策	1	保険制度の安定した運営	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	医療費通知事業・・・対象期間中に受診履歴がある人の医療費を世帯主に対して通知しました。（発送は奇数月で年6回）
2	後発医薬品普及促進事業・・・①後発医薬品に関するリーフレット等を被保険者に保険証送付時に同封しました。②窓口にはポスターを掲示し、閲覧用Q&Aを配置し、リーフレットやシールを配架しました。③広報誌に後発医薬品の啓発の記事を掲載しました。④後発医薬品差額通知を送付しました。（送付は毎月で年12回）
3	頻回重複受診指導事業・・・対象者をレセプトから抽出し、看護師等の専門職が現病歴・治療状況・受診状況・服薬の状況などを訪問により確認した上で、適正な受診及び服薬・セルフケアなどの指導を実施し、効果評価を行いました。
4	人間ドック健診事業・・・Aコース(1日ドック)30歳以上、Bコース(脳ドック)40歳以上の2つのコースを用意し、12健診機関と契約をしました。
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	21,690	23,720	23,475	23,475	23,475
事業費					
財源内訳					
国庫支出金	882	921	911	911	911
県支出金	9,714	8,549	7,616	7,616	7,616
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,094	14,250	14,948	14,948	14,948

4. 事業目標（事業指標）

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 人間ドック受診者数	人	目標値	650	650	650	650	650
		実績	636				
		達成状況	未達成				
2		目標値					
		実績					
		達成状況					
3		目標値					
		実績					
		達成状況					
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
前年度評価を踏まえた見直し状況						
目標と実績の乖離要因						
二次募集を行ったことにより、申込件数は定員に達しましたが、その後キャンセルが重なりました。抽選漏れにより却下した被保険者にも呼びかけましたが、定員に達することはできず、目標を下回る結果となりました。						
新たに発生した課題・環境変化						
日曜日に受診可能な健診機関の要望がありました。						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
受診機会拡大のため、平成29年度から日曜日に受診可能な健診機関を1機関追加（ただし、PET-CTのコースのみ）するとともに、受診者の募集人数を増加します。						
作成担当課長			保険年金課長 森本 雅生			

6. 今後の展望

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	
未達成ですが、目標値到達率は80%を超えていることから、概ね達成と見なし、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。	

1. 基本情報

事務事業の名称	基盤整備事業	事業番号	151102
所属	福祉保健部	高齢介護課	
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	5	社会保障制度の堅持	
単位施策	1	保険制度の安定した運営	

2. 事務事業の概要・活動実績

事業概要及び活動実績	
1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護（1 か所）及び小規模多機能型居宅介護（1 か所）の事業者を選定しました（平成29年5月1日付けで事業所指定）。なお、小規模特別養護老人ホーム（1 か所）は、公募を行いました但応募事業者がありませんでした。
2	
3	
4	
5	
6	
7	

3. コスト情報

(単位:千円)

区分	平成28年度 (決算)	平成29年度 (予算)	平成30年度 (実施計画)	平成31年度 (実施計画)	平成32年度 (実施計画)
事業費合計	72,562	240,968	0	85	30,900
事業費					
財源内訳					
国庫支出金	19,003	0	0	0	0
県支出金	53,559	240,968	0	0	30,900
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	85	0

4. 事業目標（事業指標）

指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1 小規模特別養護老人ホーム整備 (累計)	箇所	目標値	3	4	4	4	4
		実績	3				
		達成状況	達成				
2 小規模多機能型居宅介護整備(累計)	箇所	目標値	2	3	3	3	4
		実績	1				
		達成状況	未達成				
3 定期巡回・随時対応型訪問介護 看護整備 (累計)	箇所	目標値	2	2	2	2	2
		実績	0				
		達成状況	未達成				
4		目標値					
		実績					
		達成状況					

5. 評価と対応方針

評価分析						
前年度評価を踏まえた見直し状況						
目標と実績の乖離要因						
介護従事者の不足によって介護サービス事業者から新規事業所の整備は難しいとのことから、当町の公募に対する事業者からの応募がなかったため。						
新たに発生した課題・環境変化						
町民からは施設整備の要望が高まっているが、介護従事者の不足によって介護サービス事業者から新規事業所の整備は難しいとの意見があり、利用者（待機者）の状況を踏まえ、公募内容及び整備数を決定する必要がある。						
目標と実績の乖離や新たに発生した課題を踏まえた対応方針						
評価	事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	抜本的な見直し
事業評価（今後の方向性）を踏まえた対応方針						
第6期介護保険事業計画において施設整備を進める方針としていますが、事業者から人員の確保が難しいとの意見が多く寄せられており、また、緊急度の高い在宅の待機者も比較的少ないことから、外部有識者を交えた高齢者福祉計画等策定委員会から意見を聴取の上、現在の方針で進めるのか、隣接する市町が広域型施設を整備することによって、緊急度の高い在宅の待機者への対応が可能であるとして方針を転換するのか、検討を行います。						
作成担当課長			高齢介護課長 森 太			

6. 今後の展望

今後の方向性	抜本的な見直し
方向性を踏まえた今後の展望	
事業のあり方について、対応方針に沿い、抜本的に見直すこととします。	